

比例2議席猛追 大接戦 沖縄1区必勝!

九州・沖縄から政権交代の大波を!

すべての党員、「赤旗」読者、後援会員のみなさんに訴えます

お願いしたい3つのこと

1 勢い示す宣伝

全戸ビラ配布に協力してください。駅頭や交差点、スーパー前でのスタンディングなど、選挙本番でもできる目立つ宣伝に参加を。共産党の勢いを示しましょう。

2 2票、3票広げてください

「全国は1つ」の立場で、家族、知人、あらゆるつながり、「マイ名簿」に電話して、「総選挙は1人2票。比例は日本共産党」「沖縄1区はオール沖縄の赤嶺へ」と声かけを。支持を広げてください。

3 担い手づくり

「折り入って作戦」は、2回3回あたってこそ威力が発揮。「比例選挙は1票を争う大激戦」「3票、5票広げてください」と訴えましょう。

党員、「しんぶん赤旗」読者、後援会員のみなさん、昼夜を分かたぬがんばりに心から感謝と敬意を申し上げます。

議席増、政権交代のチャンス

総選挙も、いよいよ最終盤です。私たちは、「野党共闘で政権交代を実現し、新しい政権をつくろう」とよびかけてたかっています。新聞各紙は、対決構図は「自公 VS 野党共闘」だと書き、NHKも「自公政権維持か、政権交代かが、総選挙の争点」と報じました。私たちが訴えてきた争点が、客観的な争点となっているのです。しかも野党共闘を真剣にぶれずに誠実にすすめてきたのは日本共産党であることが知られるようになり、「ほんとうによく決断してくれた。心から感謝したい。『比例は共産党』を広げる」などの声が寄せられ、「お願い袋」を3000届けたらすぐに100票が返信されてきたなどの経験も各県で次々と生まれています。

ところが私たちの活動の到達は、勝利に必要な勢いをまだつくり出せていません。このままでは九州・沖縄ブロックの比例区では1議席にとどまり、2議席に届きません。沖縄1区も抜きつ抜かれつの横一線の大接戦となっており、予断を許しません。現有議席確保も確実とは言えないというのが率直な実状です。マスコミも、「共産は比例を重視する選挙戦略で1議席の維持を確実にした。議席増には支持の広がり課題となる」（「西日本」）と指摘しています。共産党への期待は大

きくなり、党躍進、政権交代のチャンスが広がっているのですが、私たちの声かけ、活動が不足しており、それを十分につかみとれていないのです。

全党員、読者、後援会員が立ち上がれば、躍進は必ずできる

もちろん選挙の勝敗は、マスコミ報道によって決まるわけではありません。私たちの最後まで奮闘が当落を決めるのです。問題は、私たちの訴えと、野党共闘の前進の姿が広い有権者に届くかどうかです。

現在の支持拡大の到達は38万9千で、九州・沖縄ブロックの得票目標の90万票に届いていないどころか、前回総選挙の最終到達55万3千票も超えきれていません。前回は、13万票足りずにまじまさんの議席を失いました。1支部当たりわずか83票でした。今回も、おそらく1支部あたりにすれば数票、数十票の差で2議席目の当落が分かれると思われます。ここまできがらばってそんな僅差で涙を飲むわけにはいきません。

27日(水)には、志位委員長が博多駅頭で演説し、九州中にオンライン配信も行います。同日、那覇市でも訴えます。

九州・沖縄には、1600支部、26000人の党員が活動しています。8万人の「赤旗」読者、30万人の後援会員が党を支えています。みんなで志位委員長の訴えも聞いて、力を合わせて立ち上がれば、事態打開、局面転換は必ずできます。

1日、1日の私たちの活動が、歴史をつくります。力を合わせ、倍する奮闘で、何としても比例2議席以上、沖縄1区必勝を勝ち取り、九州・沖縄から政権交代の大波を起こしましょう。

2021年10月25日

日本共産党福岡県委員長 内田裕
佐賀県委員長 今田真人
長崎県委員長 山下満昭
熊本県委員長 松岡勝
大分県委員長 林田澄孝
宮崎県委員長 来住一人
鹿児島県委員長 野元徳英
沖縄県委員長代理 鶴淵賢次

公示後、選挙の論戦が、ますます面白くなっています！

共産党が圧倒的リード



経済

「成長か、分配か」ではない！ 分配がゆがんでいる！

ズバリ指摘

岸田首相は「成長と分配の好循環」と叫び、メディアでは一時期、「成長が先か、分配が先か」という不毛な議論になっていました。

そこに共産党が「分配の中身がゆがんでいる。ここに一番の問題がある」と問題の本質をズバリ。「アベノミクス」の9年間で、大企業と富裕層が分配を独り占めしてしまっていて、庶民のところに分配が回らない——この分配のゆがみが一番の問題だ、と指摘したのです。

大金持ちの資産は24兆円…えっ、4倍に増えたのに、働く人の実質賃金は年22万円も減ったんだ！

なるほど！ だから、「家計を底上げしよう」という政策がかみあうんだね



新分野

各党の気候危機打開策 共産党満点、自民は0点

気候ネットが評価

地球温暖化防止のために活動するNPO法人「気候ネットワーク」は、各政党の選挙公約をもとに地球温暖化対策に関連した気候変動・エネルギー政策を評価・分析。結果は、日本共産党は4項目すべて満点の20点。一方、自民党は脱石炭火力や脱原発の2項目でマイナス点となり0点、公明党が4点でした（立憲民主党14点、日本維新の会1点）。

ジェンダー問題でも、「男女の賃金格差をどう是正するか」が党首討論のテーマになって、共産党が「企業に公表義務付けを」とズバリ言った！

女性は男性の55%生涯賃金で1億円の格差ってひどくない!?



世界

米大統領が「トリクルダウンは失敗」 全米市長会議が核禁条約歓迎

自公政権が
どんどん時代遅れ
になってるって
ことか！



日本共産党の論戦が世界と響き合っています。米大統領が、“1%の富裕層と米財界に公正な負担を。それに反対するなら、いったいどこから税金をとってくるのか” “トリクルダウンは失敗した”と議会で演説。また、ノルウェーの政府は、核兵器禁止条約の締約国会議へのオブザーバー参加を決定（NATO加盟国初）。1400の都市が加入している全米市長会議が、米国政府に「核兵器禁止条約を歓迎する」ことを求める決議を採択しました。